

# 羽生市 自治会連合会だより

創刊号 平成26年1月15日発行  
 発行人 羽生市自治会連合会  
 会長 入江 建夫  
 総世帯数 21,592世帯  
 自治会加入世帯数 16,647世帯  
 加入率 77.1%  
 (平成25年12月1日現在)

## 創刊にあたって



羽生市自治会連合会会長  
入江 建夫

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日頃、自治会に対してご支援ご協力をいただき感謝いたしております。自治会連合会（74自治会）は、昨年5月に「羽生はひとつ」との思いのもと、志を一にし、町内会と区長会が一緒に活動していくことになりました。

東日本大震災や各地で発生した災害から、改めて地域の結びつきや共助の大切さを実感しました。

当連合会は、行政や議会との意見交換会、自治会同士の交流を図りながら共に考え共に行動していく所存です。そして、内部に3つの委員会を設け、自治会が抱える共通の問題や課題を議論し、より良い地域づくりを目指します。

これからは、この紙面を通じて活動内容をお知らせし、皆様のご意見をいただきながら、充実した紙面にしていきたいと思っております。

自治会が皆様のより身近なものとなるよう努力してまいります。

## 創刊に寄せて



羽生市長  
河田 晃明

この度の羽生市自治会連合会だよりの創刊誠におめでとうございます。また、入江会長をはじめとする自治会連合会の皆様には、日頃から市政全般にわたりご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。そのご尽力に対し、心よりお礼申し上げます。

今年度、自治会関係者皆様の強い意志と熱意により、町内会連合会と連合区長会が融合し、新たに自治会連合会が発足した事は、私にとりましてこの上ない喜びであり、本市の住民自治の発展を心から期待しております。そしてさらに、この広報紙の発行による、地域住民への情報発信や合意形成により、第5次羽生市総合振興計画に掲げた、市民との協働によるまちづくりが、大きく発展するものと確信しております。

今後、自治会長の皆様と共に、住みたい住み続けたいと思えるまちづくりを進めてまいります。結びに、羽生市自治会連合会の益々のご発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## 創刊に寄せて



羽生市議会議長  
蜂須 直巳

羽生市自治会連合会だよりの創刊にあたり、お喜びを申し上げますとともに、入江会長をはじめ自治会連合会の皆様のご努力に対し、心から敬意を表するものでございます。

今、地域社会では、少子高齢化や核家族化が進行するなか、地域の一体感、連帯感が希薄になることで、防災・防犯・福祉などさまざまな課題・問題が生じております。このため、これまで以上に住民同士の連帯・協力が重要になっております。

市議会といたしましても、最善の努力を傾注し、安心・安全なまちづくりの推進に取り組む所存でございます。

羽生市自治会連合会の皆様におかれましては、地域のまちづくり推進のため、引き続きご尽力、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、羽生市自治会連合会のさらなるご発展と、自治会活動の益々の充実をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

# 自治会連合会 役員

会長	入江 建夫 (岩瀬地区)
副会長	須加 武治 (羽生地区)
副会長	古澤幾久治 (手子林地区)
事務局長	小林 文雄 (新郷地区)
会計	高橋 三郎 (井泉地区)
常任理事	福島 照雄 (須影地区)
常任理事	加藤 武男 (川俣地区)
常任理事	大越 君雄 (三田ヶ谷地区)
常任理事	新井 清春 (村君地区)
理事	小野田和男 (羽生地区)
理事	須永 定男 (新郷地区)
理事	川邊 隆美 (須影地区)
理事	榎原 賢二 (岩瀬地区)
理事	斉藤 隆 (川俣地区)
理事	山下 直助 (井泉地区)
理事	木宮 利雄 (手子林地区)
理事	岡安 清 (三田ヶ谷地区)
理事	平井 悟 (村君地区)
監事	岡戸 徳次 (羽生地区)
監事	鈴木 清 (新郷地区)
専務執行理事	小林 藤市 (自治会連合会)
常務執行理事	須山 誠一 (自治会連合会)

## 改革推進委員会

委員長	古澤幾久治 (手子林地区)
副委員長	加藤 武男 (川俣地区)
委員	小野田和男 (羽生地区)
委員	須永 定男 (新郷地区)
委員	石井 実 (須影地区)
委員	矢島 勇 (岩瀬地区)
委員	若田部完一 (井泉地区)
委員	木宮 利雄 (手子林地区)
委員	秋山 英昭 (三田ヶ谷地区)
委員	平井 悟 (村君地区)
委員	小林 藤市 (自治連)
委員	須山 誠一 (自治連)
事務局長	小林 文雄 (新郷地区)

## 組織強化委員会

委員長	須加 武治 (羽生地区)
副委員長	福島 照雄 (須影地区)
委員	荒井 利男 (羽生地区)
委員	須永 定男 (新郷地区)
委員	榎原 賢二 (岩瀬地区)
委員	大川 豊造 (川俣地区)
委員	山下 直助 (井泉地区)
委員	岡戸 儀房 (手子林地区)
委員	岡安 清 (三田ヶ谷地区)

## 自主防災推進委員会

委員長	高澤 憲司 (村君地区)
委員	小林 藤市 (自治連)
委員	須山 誠一 (自治連)
事務局長	小林 文雄 (新郷地区)
委員長	高橋 三郎 (井泉地区)
副委員長	大越 君雄 (三田ヶ谷地区)
委員	森 秀夫 (羽生地区)
委員	須永 定男 (新郷地区)
委員	川邊 隆美 (須影地区)
委員	清水 親夫 (岩瀬地区)
委員	斉藤 隆 (川俣地区)
委員	渡辺 益光 (井泉地区)
委員	岡戸 敏夫 (手子林地区)
委員	新井 清春 (村君地区)
委員	小林 藤市 (自治連)
事務局長	小林 文雄 (新郷地区)

地域のために  
がんばります！  
よろしく  
お願いします！



# 自治会連合会 委員会について

自治会連合会では、3つの委員会を立ち上げ、自治会を取り巻くいろいろな問題の解決に向けて取り組んでいきます。

## 改革推進委員会 古澤幾久治

自治会連合会の広報紙創刊に際して、当委員会より一言ご挨拶させていただきます。

自治会連合会は、昨年5月31日に誕生しましたが、そのきっかけは、自治会運営に対する危機感でした。人口減少・少子高齢化の進展により、今のうちから将来の自治会像を描いておかなければ、自治会運営が行き詰まってしまう恐れがあります。

そこで、本委員会では、自治会の適正規模はどれくらいかということから、自治会長手当の見直しに至るまで、前例にとらわれずに自治会を取り巻く問題を一から考えていくことになりました。

どの問題も一朝一夕に解決できるものではないと思いますが、自助・共助による住みよい地域づくりのため、努力してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 組織強化委員会 須加 武治

当委員会は、自治会への加入促進のために何をなすべきかをテーマに発足しました。また（仮称）自治会活動マニュアルを作成し、時代に即応した自治会のあるべき姿も追求していきます。

平成25年12月1日現在の自治会加入率は、総世帯数21,592に対し、加入世帯数16,647で、77・1%となっています。これを地区別に加入実態調査を行い、加入状況と自治会未加入の理由を調べます。これを集計の上、今後の対応策を作っていきます。

大手メーカーのアドバイザー等未加入があるとき自治会連合会とメーカーとの交渉も検討していきます。

自治会活動の活性化・円滑化を図るため自治会活動マニュアルを作成します。

加入実態調査の集計は平成26年1月に行い3月までに対応策を立案すべく、マニュアルの作成とともに精神的に取り組んでいきます。



## 自主防災推進委員会

高橋 三郎

3年前の「東日本大震災」発生時は、避難防災訓練を実施していた地域と、行っていなかった地域では、被災者数に大変開きが出たと聞きました。「防災訓練」を行うことがいかに大事か痛感いたしました。羽生市は幸いにも災害が少ないため、防災に対する意識が薄いと感じられます。

そこで、自主防災推進委員会では、次年度から、公民館主体の防災訓練から自治会主体（自主防災訓練）への移行に合わせ、各自治会長（町内会長・区長）に協力をお願いし、自主防災規約・訓練マニュアル作りを行っているところ です。

市民ひとりひとりに防災への意識『自分の命は自分で守る』関心を高めてもらい、自主防災訓練が行われた時には、全世帯参加しての訓練ができることを目標に、ご協力をお願いいたします。





### 新郷地区の活動状況

小林 文雄

羽生市自治会連合会だより創刊にあたり地域の近況をお知らせします。新郷地区は江戸時代は忍藩に属し、昭和29年の合併に伴い現在に至っております。

新郷は羽生市の西部に位置し南は加須市、西は行田市に隣接し、北は利根川に接し羽生市の北の玄関に道の駅羽生があり、南北に細長く緑が多いエリアです。下新郷・下新田・上新郷の大字3地区で構成され、下新郷1区から西新田14区までの自治会で成り立っております。

全世帯数は1,667世帯で歴史や文化がそれぞれ違います。各自治会とも1年を通じて、敬老会・防災訓練・防犯運動・ゴミゼロ運動・夏祭りなど様々な行事を行っています。区長会を毎月開催し、地域住民を取り巻く厳しい状況の中、行政と連携を密にしてコミュニティの輪を広げていきたいと思っております。

### 須影地区の活動状況

福島 照雄

須影地区は9地区から構成され、今年度は私をはじめとして5区長が新任区長です。

25年度行事計画に基づき、先輩区長からアドバイスを頂きながら、なんでも話し合えること、情報の共有化をモットーに活動を実施しております。

4月から6月までは各種団体の総会等が数多くあり、そこでのあいさつに苦労しました。

また、自治会連合会発足に向けて多くの会合が行われ地元区長との会合では大議論を行った事が強く印象に残っております。

須影小学校の学校応援団については6種類の活動班があり各班が年間スケジュールに基づき地域の子供達のために皆さんがいきいきと活動しております。

各地区では9月中旬から体育祭に備えて須影運動公園で種目毎に練習を行い、9月29日(日)に須影地区体育祭が開催され有意義な一日を過ごしました。

### 川俣地区の活動状況

加藤 武男

川俣地区は、930世帯からなる利根川を背にした住みよい地区であります。

当地区の一大イベントである「川俣なかよし運動会」が、去る9月25日に小学校と地区との合同で行われました。

今年のテーマは『運動会みんなで作る地域の輪』(小学生考案)。テーマのとおり、子どもたち一人一人が力一杯がんばる姿と競技に地区の人達の大声援、大人の競技にも子どもたちの大声援がグラウンド一杯に響き渡りました。運動会を通して、仲間や家族、地域の絆を深め皆で地域の輪をつくることができましたと自負しております。また、感動の一日でした。

『川俣っ子』を地域で守ろう育てようと、ボランティア・PTA・自治会等一丸となり取り組んでいます。

### 自治会に加入しましょう!

いざというときは、自治会が頼りになります。たとえば、災害が起きたときには、隣近所の助けあいが必要です。日頃からご近所同士の交流を大切にしましょう。ぜひ自治会への加入をお願いします。



### 編集後記

羽生市自治会連合会だより創刊号が発行できる運びとなりこの上ない喜びです。多くの方にご多用の中ご寄稿頂きまして、厚くお礼申し上げますとともに、各自治会の発展をお祈りいたします。

### 編集委員会

- 委員長 小林 文雄(新郷)
- 委員 小野田和男(羽生)
- 榎原 賢二(岩瀬)
- 若田部完一(井泉)
- 儘田 義光(手子林)
- 小林 藤市(自治連)